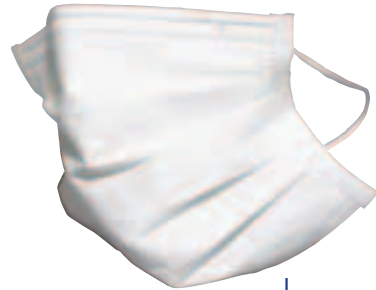


# 新型インフルエンザに備えましょう

特集

現在、鳥類に毒性の強い鳥インフルエンザが流行しており、人から人へと感染しやすい型に変異をとげた「新型インフルエンザ」の発生が危惧されています。いったん新型インフルエンザが発生すると、誰も免疫を持っていないため、短期間で世界中に広まり、大きな被害をもたらす可能性があります。

家族や自分自身を守るために、新型インフルエンザに対する正しい知識を身に付け、実際に発生した場合でも落ち着いて対応することが大切です。

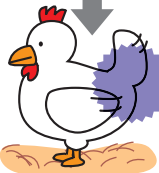


## 新型インフルエンザとは？ ～鳥インフルエンザと新型インフルエンザの関係～

野生の水鳥が鳥インフルエンザウイルスを腸内に保有



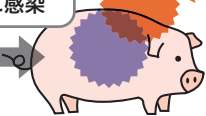
鳥同士の接触やフンなどを介して、野鳥から鶏などの家禽に感染



接触などにより、まれに鳥から人に感染



接触などにより、まれに鳥から他の動物に感染



接触などにより、まれに鳥から人に感染



2種類のウイルスが合わさって、人から人に強い感染力を持つ新型ウイルスに

突然変異して、人から人への感染力を持つ新型ウイルスに

新型ウイルスの出現による、人間での大流行の恐れ



- 鳥インフルエンザウイルス
- 人のインフルエンザウイルス
- 新型インフルエンザウイルス

専門家に話を聞きました。

市民の皆さんへの医療を確保します

さいたま市4医師会連絡協議会議長

仙波 邦博氏

新型インフルエンザの予防には、ワクチン接種が最も有効です。しかし、現在のところ、新型インフルエンザに直接の効果があるワクチンは存在しません。そのようなワクチンの準備に必要な期間は、実際に新型インフルエンザが発生してから半年とも一年ともいわれています。それまでに感染・発病した方への治療は、タミフルなどの抗インフルエンザウイルス薬が使用されます。さいたま市が独自に市民治療用のタミフルを確保する予定とのことで、市内の医療機関で使用するものについては、不足の心配が軽減されました。

医師会としては、新型インフルエンザの発生・流行時に、市民の皆さんの医療を確保・維持するため、医療機関内での感染防止策や入院病床の確保などについて、市や公的病院などと共に具体的な検討を進めています。

### 正確な情報収集と冷静な行動を

さいたま市保健所長

保健所では、新型インフルエンザが発生した初期の段階に、患者とその接触者(家庭・学校・職場等)の行動経路・健康状況を調査するなどして、新型インフルエンザの封じ込め対策を徹底的に実施します。発生後は、電話相談窓口を設置し、健康相談などを受け付け、必要に応じて受診可能な医療機関を紹介いたします。電話番号は設置時にお知らせいたします。

市では、最新情報を随時に発信していきます。市民の皆さんには、風評やうわさ話などに惑わされず、正確な情報を絶えず入手して行動していただきたいと思います。

## 安心・安全の確保に全力を注ぎます

新型インフルエンザは、いつ発生してもおかしくないといわれており、世界的に大流行(パンデミック)した場合には、短期間に多くの患者が発生して医療機関が麻痺したり、社会機能が低下するなどの可能性があります。これには、行政、医療機関、企業、市民が協力して新型インフルエンザ対策を進めていく必要があります。



本市では、平成17年11月に行動計画を策定し、対策を進めてきました。平成21年度にかけての取り組みとしては、市民治療用に抗インフルエンザウイルス薬のタミフルを購入する計画です。また、各医療機関内で感染を広げない方策、多くの患者さんが入院できる病床の確保など、医療体制の整備にも本格的に取り組めます。更に、消防や救急のようにパンデミック時でも維持しなければならない市民サービスの選択と維持の方法について、本市独自の事業継続計画の検討を行っています。実際に発生した場合には、学校や公共施設などを適切な時期に閉鎖すると共に、各事業者と協力して生活必需品の安定供給やライフライン機能の確保などに努めます。

今後も様々な事態に備え、安心・安全なまちづくりを推進します。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

さいたま市長 相川 宗一

## 新型インフルエンザの世界的流行(パンデミック)で危惧される状況例

- 短期間に非常に多くの患者が発生し、医療機関に殺到する
- 医療関係者にも感染が広がり、医療サービスが低下する
- ライフライン従事者の発症により社会機能が低下し、市民の日常生活に支障をきたす

## 想定される新型インフルエンザの感染経路

- **飛沫感染**  
感染者の咳やくしゃみで飛び散ったつば(飛沫)と一緒に放出されたウイルスを吸い込んで感染
- **接触感染**  
ウイルスが付着したものを触り、その手で口や鼻、目を触ることによって感染
- **空気感染**  
飛沫と一緒に放出されて、ホコリと共に空気中に漂うウイルスを吸い込むことで感染  
※現時点では、空気感染を想定した対策は必要ないと考えられています。

## 今からできる新型インフルエンザ対策 ~通常のインフルエンザにも有効です~

- こまめに手洗い・うがいを行う。
- 咳エチケットを心掛ける。
  - ◆ 咳やくしゃみをするときは、鼻や口をティッシュなどで覆い、使ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てる。
  - ◆ マスクを付けて、ほかの人にうつさないようにする。
- 人混みや繁華街への外出を控える。また、外出する場合はマスクを付ける。
- 日ごろからバランスよく栄養をとり、体力や抵抗力を高める。
- 新型インフルエンザが発生したときは、テレビやラジオのニュース、新聞、自治体が発表する正確で最新な情報を入手する。
- 自分や家族が感染し、外出できなくなった場合などに備えて、2週間分程度の食料品や日用品、医薬品を買い置きしておく。



### 正しい手洗いの仕方

石けんをよく泡立てて、手のひら、手の甲、指の間、爪の間、手首をしっかり洗います。洗った後は、清潔なタオルなどでよく拭き取ります。

詳しくは、健康増進課(☎829・1292、FAX 829・1967)へ。